

平成21年4月10日

各位

会社名 荒川化学工業株式会社  
本社所在地 大阪市中央区平野町1丁目3番7号  
代表者名 取締役社長 末村 長弘  
(コード番号 4968 東証第一部、大証第一部)  
問合せ先 取締役経営企画室長 谷奥 勝三  
TEL (06) 6209-8500 (代表)

## 特別損失の発生および通期業績予想・期末配当予想の修正 ならびに役員報酬減額等に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、特別損失の発生と平成21年1月28日に公表しました平成21年3月期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）の業績予想および平成20年5月7日に公表しました平成21年3月期の期末配当予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。これを受けまして、既に役員報酬の減額等を実施しておりますが、より経営責任を明確にするため減額幅を拡大することといたします。さらに幹部職社員につきましても給与の減額を実施することといたします。

記

### 1. 特別損失の発生およびその内容

	連結	個別
平成21年3月期末の投資有価証券評価損の総額	260百万円	258百万円
平成21年3月期末の関係会社出資金評価損の総額	—	480百万円

国内株式市況の低迷が続く中、当社グループの保有する株式のうち、時価が著しく下落し、その回復が困難であると認められるものについて、平成21年3月期において減損処理による投資有価証券評価損が発生いたしました。加えて、個別におきましては、業績が低迷している一部の子会社への出資金について、平成21年3月期において減損処理することによる関係会社出資金評価損を特別損失として計上する見込みとなりました。

2. 平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	60,500	1,000	1,200	550	27.31
今回修正予想（B）	58,500	1,000	1,200	550	27.31
増減額（B－A）	△2,000	－	－	－	－
増減率（％）	△3.3	－	－	－	－
（ご参考）前期実績 （平成20年3月期）	66,171	3,031	3,222	1,775	88.18

3. 平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	51,000	500	1,350	850	42.21
今回修正予想（B）	49,500	500	1,350	550	27.31
増減額（B－A）	△1,500	－	－	△300	－
増減率（％）	△2.9	－	－	△35.3	－
（ご参考）前期実績 （平成20年3月期）	54,410	1,434	2,433	1,571	78.05

4. 通期業績予想修正の理由

世界的な金融危機に端を発した急激な実体経済の後退などにより、当社グループを取り巻く事業環境は極めて厳しい状況で推移しております。当社グループの主要顧客である製紙、印刷インキ、塗料、粘着・接着剤および電子工業業界などにおきましても、大幅な減産や在庫調整がおこなわれております。その影響による急激な需要の減少により、当社グループの業績は予想を下回る推移となり、平成21年1月28日に業績予想の修正をおこないました。その後も当社グループを取り巻く事業環境は厳しい状況が続いており、通期の売上高は連結、個別ともに前回発表予想を下回る見込みとなりました。一方、鋭意取り組んできたコスト削減努力により連結、個別の営業利益、経常利益および連結の当期純利益については前回発表予想から修正はありませんが、関係会社出資金評価損を特別損失として計上する見込みであり、個別の当期純利益は前回発表予想を下回る見込みとなりました。

## 5. 期末配当予想の修正

基準日	1株当たりの配当金		
	第2四半期末	期 末	年 間
前回予想 (平成20年5月7日)		12円50銭	25円00銭
今回修正予想		10円00銭	22円50銭
当期実績	12円50銭		
前期実績 (平成20年3月期)	12円00銭	13円00銭	25円00銭

## 6. 期末配当予想修正の理由

当社は、平成20年4月よりスタートさせた第2次中期5ヵ年経営計画において明確にしておりますように、株主還元策として、安定的かつ継続的な配当を維持しつつ、積極的な株主還元策に取り組むことを基本方針としております。しかしながら、当社グループを取り巻く事業環境は当面厳しい状況が続くと予想され、通期業績も前期実績に比べて大幅な減収減益となることが予想されることなどを勘案して、上記のとおり修正させていただきます。

## 7. 役員報酬ならびに幹部職社員給与の減額等

期末配当予想の修正を真摯に受け止めるとともに、当社グループが置かれている厳しい状況を踏まえて、当社の役員報酬につきまして、平成21年2月より実施している月額報酬5～20%の減額幅を拡大することといたします。また、当社の監査役全員から、平成21年2月より月額報酬を減額する旨申し入れを受けておりましたが、平成21年4月より減額幅を拡大する旨の申し入れがありましたので、併せてお知らせいたします。

(減額の内容)

- ・代表取締役 月額報酬の25%を減額
- ・取締役 月額報酬の15～20%を減額
- ・監査役 月額報酬の15%を自主返上

(対象期間)

- ・今後の業績に照らし判断いたします。

また、当社グループでは、コスト削減に鋭意努めておりますが、厳しい経営環境を乗り切るため、平成21年4月より幹部職社員給与の減額を実施することといたしました。

(減額の内容)

- ・幹部職社員(部長職以上) 月額給与の3～5%を減額

(対象期間)

- ・今後の業績に照らし判断いたします。

(注) 上記の予想は本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上